

ロンドンオリンピックの選手村情報 ～オリンピックレガシーの活用を視野に入れて～

ロンドン事務所

2012 ロンドンオリンピックがいよいよ始まります。開催期間は、7月27日（金）～8月12日（日）（一部種目は25日（水）から開始）の約2週間余りで、204カ国から26種目でおおよそ10,500人の選手が参加し、期間中には世界各地からロンドンを訪れる観光客は約200万人と予想されています。オリンピック用の看板や装飾がいたるところに設置され、道路が舗装されるなど、街中の整備は急ピッチで進んでおり、ニュースでも毎日オリンピック情報が流れていますが、実際のところ周辺の人々はあまり興奮状態を表に出していないようで、競技が始まるまでは冷静に、といったところでしょうか。この辺が英国の紳士的なお国柄を表しているような気がします。

ここでは、オリンピック期間中、選手や関係者が滞在する選手村（The Olympic Village）を簡単に紹介します。

1. 充実した設備・環境

選手村の建設は2008年5月に始まり、約4年の歳月をかけて2012年6月に、オリンピックパーク内に完成しました。選手村には、おおよそ17,000人の選手及び関係者が滞在する予定で、アパートメント式及び住宅式の居住スペースが11区画あり、食堂、医療施設、娯楽施設、インターネットを利用できる施設、各種店舗、広大な共同スペース等が完備されています。特に、共同スペースは友人や家族との時間を楽しむためのスペースとされており、家族との時間を共同スペースで楽しむロンドンの慣習が反映されています。またストラトフォード駅やストラトフォード国際駅に隣接しており、地下鉄や電車、バスなど公共交通機関でのアクセスが便利です。



選手村の外観。それぞれの居住スペースが区画で分けられています。中央は広々とした共同スペースとなっています。



共同スペースの一角。



部屋(寝室)の様子。アパートメント式は2人で1ベッドルーム1部屋が基本。



部屋(リビング)の様子。



食堂の様子。食事は、2万5000斤のパン、100トンの肉、7万5000リットルの牛乳、330トンの野菜と果物が使用され、合計1400万食が提供されるそうです。



バイキング形式となっており、各メニューにはカロリー数や各栄養素がどのくらい入っているかなどが記載されています。



トレーニング施設の様子



インターネット利用施設の様子。全てワイヤレスの最新式で、フェイスブックやツイッターもできます。

2. オリンピック後の活用 ～ ロンドンオリンピックのレガシー ～

国際オリンピック委員会 (IOC) 憲章に、「開催都市・開催国は、建設的なレガシー (Legacy / 遺産) を促進すること」と明記されているとおり、近年のオリンピックでは、オリンピック開催により築いたハード・ソフト両面のレガシーをいかに次世代に継承するかが重要な課題の一つとなっています。開催都市・国にとっても、競技会場やインフラ整備等に貴重な公費を使ってオリンピックを開催する以上、オリンピック終了後もレガシーが持続的

に有効活用されるための施策が不可欠となっています。英国政府は 2008 年 6 月に「レガシーアクションプラン」を発表し、スポーツ大国とすること、ロンドン東部地域中心部を変革すること、オリンピック・パークを環境に配慮した持続可能な生活を促進するモデルとすることなど、持続的なレガシーの活用を視野に入れていきます。

選手村については、大会終了後、居住スペースは、各部屋にキッチンが導入されるなど整備された上で、半分を民間の住宅、半分を政府出資の公営住宅として提供し、約 2,800 世帯が住めるようになります。また、選手村に隣接する形で「Chobham Academy」と呼ばれる 3 歳～19 歳までの生徒が学べる 1,800 人規模の学校や、医療センターが設けられ、居住スペースと併せて一体のコミュニティとして活用される予定です。



Chobham Academy の外観

その他は、オリンピック・パークは、大会終了後、欧州最大級の都市公園「クイーンエリザベス公園」に生まれ変わり、8 万人の観客席を擁するメインスタジアムは、大会終了後、スタンドが撤去され 2 万 5 千人規模に縮小される予定です。

オリンピックレガシーの活用について、今回のロンドンだけでなく、過去の長野、シドニー、北京のその後も、5 月号の機関誌『自治体国際化フォーラム』で特集しています。各地が、オリンピック後にその施設を活かしてどのように地域振興に役立っているのか、是非参考にしてみてください。

『ロンドンオリンピック 2012 のレガシー』

『長野オリンピック・パラリンピックが遺したもの』

『シドニーオリンピックのレガシー』

『オリンピック開催跡地の現状と課題 ～北京オリンピックが北京市に残した遺産』

記事はこちら→ http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201207_2/5.pdf

【出典元】

・ AFPBBNEWS 記事（選手村写真）

<http://www.afpbb.com/article/london2012/london2012-news/2889287/9245073>

・ ロンドンオリンピック公式 WEB サイト（選手村写真）

<http://www.london2012.com/photos/venue-galleries/venue=olympic-village/index.html>

【参考資料】

・ロンドンオリンピック公式 WEB サイト（オリンピック・パーク地図）

<http://www.london2012.com/spectators/venues/olympic-park/map-of-the-park/index.html>

（細越所長補佐 宮城県派遣）

